



中学校最後のそして勝負の…夏

明日から義務教育最後の夏休みが始まります。個人差はあるでしょうが、三者懇談では進路に関する話も話し合われたはず。進路に限ったことではありませんが、「希望」は願っているだけでは実現に近づきません。実現するためには自分自身が努力するほかありません。保護者の方や先生方は支えたり、励ましたり、相談にのったりすることしかできないのです。「するか、しないか」「懸命にやるか、そこそこやるか」「自信と実感を得るか、やった気になって満足するか」…どちらを選択するかはあなた方です。受験するのもあなた方です。進路の希望(願い)を実現できるのは自分自身しかいないことを常に忘れないでください。だから、あなた方自身が、「願いの届け出書」=受験の「願書」を書くのです。

今年の夏は暑い! 暑い! でも…負けないでください

夏休みを充実した有意義なものにできれば、＜3回の学力テスト(A・B・C)と期末テスト＞計4回のテストが続く2学期も、上手にのりきることができるはずです。そして、その成果が目に見える形で現れるでしょう。学習に取り組む姿勢がしっかりすればおのずと自信につながり、いっそうやる気も増すというものです。

なんとか「夏」を支配して、勝利を手にしよう!

2学期 進路に関わる主な予定

※学力テストを除く予定日、進路学活内容は現時点の予定です

学 期	月	進 路 関 係 行 事 ・ 手 続 き	進 路 の 取 り 組 み
2 学期	8	保体・技家定期テスト(24 日)	各種学校説明会、体験入学
	9	学力テストA(10 日)	○第3回進路希望調査(11 日) 各種学校説明会、体験入学 各私立高校の募集要項公開 * 通信制高校出願開始
	10	進路説明会(1 日) 学力テストB(7 日) 学年懇談会(8 日)	【学活】進路の学習③～上級学校理解(9 日) ○第4回進路希望調査(9 日) ●進路写真撮影(27 日)…※販売方法
	11	2学期末テスト(9 日) 学力テストC(11 日) 教育相談(進路相談)…(20・24～27 日)	【学活】3年間の足跡(私の履歴書)(10 日) ○第5回進路希望調査(最終)(11 日) 【学活】公立高校 Web 出願の方法(30 日)
	12	期末懇談(三者懇談)=進路の確認 …(10～11 日・14～16 日) 3年保体・技家テスト(17 日) 公立高校 Web 出願準備	* 進路事務手続き依頼書提出/学校長推薦依頼書・ * 自己推薦意思確認書・出願手続依頼書 * 学校長推薦希望者校長面接 【学活】今後の進路日程(7 日) 【学活】面接について(21 日) ○私立単願・公立推薦希望者 面接練習

今年の夏休みは…

チャンス

力をつけるには… 最大で最後の機会

◆自分の進路を明確にする



懇談会でも相談を進めてきたと思いますが、この夏休みの間にもう一度、自分の考えをはっきりさせておいてほしいと思います。自己推薦受験のための要件はすでに示されていますが、希望する人は大きな決意を迫られます。なぜなら、推薦受験は単なる受験の方法ではなく、それに値する自分かどうか問われ、求められるからです。決して有利で、楽な受験方法というわけではありません。

今度、三者懇談をする時は、受験校決定のための懇談です。2学期の成績をもとに受験校への最終的な見通しと決定を行い、願書の作成にとりかかっていきます。

そして、ここでいう『進路』とは、中学校卒業後のことだけではなく、もっと先の夢や希望を含めたもののことです。たとえば、進学を希望しているのであれば、単にどこの学校を受験するのかということだけを考えるのではなく、何のために進学するのか、どんな高校生活の抱負をもっているのか、さらにその先をどうしたいのか…などをご家族ともよく話し合いながら、じっくりと考えてください。まずは、希望先の学校を、ランクや合格点データだけでなく、通学する可能性をふまえて、よく知ることです。

◆本格的な受験勉強を始める



進学を希望するなら、この1学期を振り返って、受験に向けた努力＝受験勉強がどれくらいできていたか、考えてみてください。授業の予習・復習、課題や单元テストへの準備、そして受験勉強との両立は、なかなか大変だったと思います。ただ、それだけに自分が考えた通りの受験勉強は進められなかった人も多いのではないのでしょうか。

つまり…『今まで通りの1学期だった』『今まで通りの努力はできた』『今学期もなんとか乗り切った』…では、改善の余地があるということです。中学校の1学期は、もう来年は来ないのです。

今の時期は、1学期の間、不十分だった『受験勉強』を補強し、不得意な教科や分野、単元の克服に挑戦する期間です。自分の現在の学習状況に合わせて、どの教科に重点を置くのか、それぞれの教科のどの分野を補強するかをはっきりさせておくことが大切です。そして夏休みには、講習など、否応なくやらされる学習だけでなく、自分自身で自分独自の受験勉強を、何かひとつでも始めることです。

学年集会でもお話ししましたが、今この時期にやるべきこと、始めるべきことを確認し、スタートを切ることができた人が、受験生としてのペースを、勝負の2学期に持ち込むことができるでしょう。希望するだけでなく、実行を始める時期でもあります。すでに「カウントダウン」は始まっています。